

明日の医療を

今世紀も終りに近づき、来るべき新世紀を目前に控えている現在、国の仕組みの在り方も、また未来の医療の在り方も未だしつかりとした展望が見えてこない。

介護保険や第三次医療法改正、あるいは消費税改定や規制緩和等、未来の

医療に関わる重大な決定がなされようとする今、人の命を預かる医師・医療自体はどのような展望を持って明日へと臨むべきなのか、この期に当り、福井光壽東京都医師会会長と参議院議員の武見敬三東海大学教授にお話を伺った。



JMS4月号速報
特別対談

考える

出席者

福井 光壽
東京都医師会会長

武見 敬三
参議院議員・東海大学教授

司会 本誌主幹
野村 元久